

中部各地 感染対策さまざま

高校見学会 ようやく本格化

新型コロナウイルスの流行が続く中、中部各地の高校で中学三年生を対象にした学校見学会がようやく本格化している。昨年までは夏休み中や登録不要などで開かれたが、今年は感染拡大の「第二波」を受け、時期や方法を見直す学校が続出。「どんな学校を知りたい」という受験生のニーズは高く、各校は感染対策に神経をとがらせながら魅力の発信を工夫している。

(丸田 稔之)

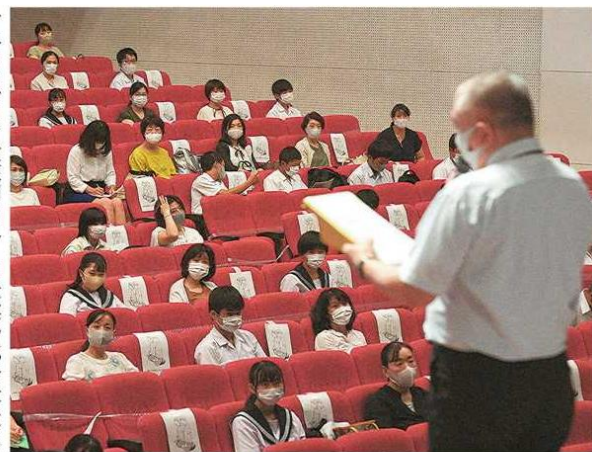
参加リスト作成、人数限定…

「部活動の発表を見て、学校の雰囲気分かった」や合唱部の実演を見学した私立の愛知高校(名古屋市中村区の中三男子)は満員。千種区が今月六日に講堂

同校は例年、登録不要で説明会を開いてきたが、今年は感染対策のため事前に申請した親子に限定した。八月上旬にオンラインで募集を始めると申し込みが殺到。定員三百五十人の枠は

二百で埋まった。

入試広報部長の中村嘉秀さん(左)は「募集前は人が集まるか心配したが、学校を生で見たいという声は根強い」と話す。参加者にはマスクの着用や体温チェックを要請。会場では一列おきに着席し、扉を開けっ放しにした。後日、来校者全員と連絡が取れるリストもつくった。十一月の残り二回も既に予約で満員だという。



新型コロナウイルス感染症の影響で参加者はマスクを着用し、座席の間隔を空けて開催された学校説明会＝名古屋市千種区の愛知高で

し、九月以降に実施するよう各校に通知した。校内で開催できない場合は、学校紹介のビデオやパンフレットを作成して配布するなどの代替措置を求めている。

三重県や長野県は各校に判断を委ねている。三重県立津東高校(津市)はやむなく中止を決めた。昨年まで校外の会場を借りて実施してきたが、千人超の参加者が見込まれ、「密」の回避が難しいからだ。代わりに学校説明や部活動の様子を収録したDVDを制作し、十月中旬に中学校に配る予定。

大垣日大高校(岐阜県大垣市)は八月九日の三日間に予定していた見学会を中止した。生徒と保護者で計四千三百人を超える申し込みがあり、「密」を避けられないと判断した。今後は

同校は例年、登録不要で説明会を開いてきたが、今年は感染対策のため事前に申請した親子に限定した。八月上旬にオンラインで募集を始めると申し込みが殺到。定員三百五十人の枠は二百で埋まった。

大学はオンライン活用目立つ

公立高校も今年例年と異なる対応だ。岐阜県は夏休みの開催を中止し、秋以降に生徒が学校を訪れる形で開く。滋賀県でも夏休み中は見合わせ、今月から土日に開催。同県では基本的

公立高校も今年例年と異なる対応だ。岐阜県は夏休みの開催を中止し、秋以降に生徒が学校を訪れる形で開く。滋賀県でも夏休み中は見合わせ、今月から土日に開催。同県では基本的